

東日本ユニオン よこはま

JR 東日本労働組合
横浜地方本部
発行者/ 松田 和秀
編集者/ 教育・広報部

申3号 「乗務員勤務制度の見直し」に関する解明申し入れを行う

5月17日に経営側より提案を受け、本部・本社間で議論・妥結し、施策が実施されることとなり、現行の「乗務員勤務制度」と大きく違う点は、乗務員勤務以外に就く社員が定期列車に乗務する機会を設けることや、2010年6月の育児介護休業法改正により導入した「育児・介護勤務A」適用社員の勤務制限の緩和を目的とし、ワーク・ライフ・バランスの充実を図ることだと認識しています。

私たちは会社の将来を見据え共に進むためにも、労働組合として提案された内容について現場実態と照らし合わせ、より立体的に安全で働きがいのある制度・職場にするために、下記の通り横浜支社に対し、11月5日に申し入れを行いました。

【 申し入れ項目 】

- 1、横浜支社が考える見直し後の乗務員勤務制度についての考え方を明らかにすること。
- 2、横浜支社が考える見直し後の稠密線区の考え方を明らかにすること。
- 3、横浜支社が考える見直し後の一般線区の考え方を明らかにすること。
- 4、横浜支社が考える見直し後の育児A勤務適用者についての考え方や、
育児A勤務適用者及び申請者数、行路・作業ダイヤについて、下記職場ごとに明らかにすること。
- 5、横浜支社内「事業所内保育所」の設置計画を明らかにすること。
- 6、横浜支社が考える見直し後の介護A勤務適用者についての考え方や、
介護A勤務適用者及び申請者数、行路・作業ダイヤについて、明らかにすること。
- 7、横浜支社が考える当務主務についての考え方や、行路・作業ダイヤについて明らかにすること。
- 8、横浜支社が考える指導担当等についての考え方や、
行路・作業ダイヤについて、下記職場ごとに明らかにすること。
- 9、横浜支社が考える支社企画部門の社員についての考え方や、
行路・作業ダイヤについて、下記職場ごとに明らかにすること。
- 10、横浜支社が考えるサテライトオフィスについて考え方を明らかにすること。
- 11、横浜支社が考える見直し後の当直交番担当の在り方について明らかにすること。
- 12、横浜支社が考える見直し後の朝食時間の拡大（稠密線区）についての考え方を、
下記職場ごとに明らかにすること。
- 13、横浜支社が考える見直し後の在宅休養時間の拡大について考え方を明らかにすること。
- 14、横浜支社が考える見直し後の環境改善（安眠・休息）についての考え方を明らかにすること。

安全で働きがいのある制度・職場を目指そう!!